

●当院採用薬の粉碎可否について その2

2025年6月現在、当院院内採用薬品のうち、錠剤の粉碎可否について一覧に示します。

- 粉碎可であると推測されるもの
- △ 条件付きで粉碎可であると推測されるもの
- ✗ 粉碎不可であると推測されるもの

※50音順にて記載（先発品・後発品混合）

参考資料 添付文書、インタビューフォーム、各社ホームページ、錠剤・カプセル剤粉碎ハンドブック 第8版、山口大学附属医学部病院薬剤部作成 粉碎・脱cap一覧（2023.4.20）

院内採用薬	粉碎可否	院内採用薬	粉碎可否
ナルフラフィン	△	ピコスルファート	△
ナルラピド	✗	ビソプロロール	○
ニコランジル	△	ピドキサール	✗
ニトロペン	✗	ピモベンダン	○
ニフェジピン	✗	ビラノア	△
ノイロトロピン	△	ファムシクロビル	△
ノイロビタン	△	ファモチジン	△
ノバミン	○	ブイフェンド	○
ハーフジゴキシン	○	フェキソフェナジン	○
バイアスピリン	△	フェノバール	△
パキロビッド	✗	フェブキソスタット	△
バラシクロビル	○	フォシーガ	△
バルサルタン	△	フォゼベル	✗
バルプロ酸	✗	フォリアミン	△
バルモディア	△	ブスコパン	✗
パロキセチン	○	プラケニル	△
パントシン	△	フラジール	△
ピオグリタゾン	○	プラバスタチン	○
ビオスリー	△	フルニトラゼパム	○
ビカルタミド	✗	プレガバリン	△

院内採用薬	粉碎可否	院内採用薬	粉碎可否
ブレディニン	△	ホスミシン	○
プレドニゾロン	○	ボセンタン	○
プレドニン	○	ボノサップ	△
フロセミド	△	ポラプレジンク	△
プロチゾラム	△	ポララミン	○
プロパジール	○	ポリフル	△
プロピベリン	○	マヴィレット	×
フロリネフ	○	マグミット	○
ベージニオ	×	ミグリトル	△
ベオーバ	○	ミティキュア	×
ベザトール	×	ミネブロ	×
ベタセレミン	△	ミノサイクリン	△
ベタヒスチン	△	ミヤBM	○
ベニジピン	○	ミルタザピン	△
ベラサス	×	メジコン	○
ベラパミル	△	メチコバール	×
ベラプロスト	△	メトクロプラミド	○
ベリキューボ	△	メトトレキサート	△
ペロスピロン	○	メトホルミン	○
ペンタサ	×	メプチン	△

院内採用薬	粉碎可否	院内採用薬	粉碎可否
メマンチン	△	リボトリール	○
メルカゾール	○	リマチル	×
メロキシカム	○	リマプロスト	×
モサプリド	○	リンヴォック	×
モンテルカスト	×	リンゼス	×
ユナシン	○	リンデロン	○
ユリス	○	レイボー	×
ラニラピッド	○	レキサルティ	△
ラベプラゾール	×	レスタミンコーワ	△
ラボナ	△	レパグリニド	△
ラメリテオン	○	レバミピド	○
ラロキシフェン	×	レベチラセタム	○
ランソプラゾール	×	レボセチリジン	△
リオナ	△	レボフロキサシン	△
リオレサール	○	ロイコボリン	△
リクシアナ	△	ロキソプロフェン	△
リスペリドン	△	ロスバスタチン	△
リセドロン酸	×	ロンサーフ	×
リバーロキサバン	△	ワーファリン	△
リベルサス	×		